

平成22年12月15日
内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）

重要インフラにおける分野横断的演習 ～【CIIREX 2010(シーレックス 2010) *1】～の実施概要について

内閣官房情報セキュリティセンターは、重要インフラ事業者を始めとする38団体の参加を得て、本年度で5回目となる分野横断的演習を実施しました。また、集合演習に加えて、初の試みとなる自職場演習も、一部の参加者の協力を得て実施しました。

通信障害の発生を想定した演習を通じて、各参加者共にBCP等に基づく対応について多くの気づきを得られました。また、自職場参加の有効性も確認できました。

1. 実施日時・場所

平成22年12月13日（月）12：00～18：30

株式会社三菱総合研究所（千代田区永田町）会議室（一部自職場）

2. 参加機関等

【重要インフラ事業者等】10分野（情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流）の17機関

【セプター】10分野の14セプター*2

【分野横断的演習関係有識者】

【政府】重要インフラ所管省庁

（金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省）及び

内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）の6機関

合計 38組織141名が参加（内4組織17名が自職場参加）

*1：「CIIREX」は「重要インフラにおける分野横断的演習」の略称。以下の英文の頭文字。

CIIREX 2010：Critical Infrastructure Incident Response Exercise 2010

*2：「セプター（CEPTOAR）」とは、各重要インフラ分野で整備されている情報共有体制のこと。情報共有・分析機能を示す英文の頭文字。

CEPTOAR：Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response

3. 演習内容

本年度は、重要インフラ事業者の BCP（事業継続計画）等の検証を半日の演習でより効果的に実施するため、現実の障害として発生する可能性は極めて低いものの、障害原因を特定しない大規模かつ広範囲な通信障害を想定して演習を実施しました。

具体的には、重要インフラ事業者向け通信サービスの停止、固定電話や携帯電話の輻輳（つながりにくくなる状態）、ホームページへのアクセスが困難になる状態等の障害が、単体もしくは複数で同時又は時系列的に発生したことを想定しました。

演習後の意見交換会において、自社内の本部支部間や関係機関との確実な連絡手段の確認と周知、サービスの現状等に関する速やかな広報、他分野への影響波及に伴う想定外の対応の必要性等、BCP等に基づく対応について、各参加機関で多くの気づきを得られたことを確認できました。

あわせて、自職場参加した事業者等からは、実際に近い環境で参加でき十分有効だったとの評価を得ました。

4. 今後の展開

各重要インフラ事業者等においては、準備段階を含めて演習を通じて得られた BCP 等における気づきを自社あるいは各分野内で共有し、情報セキュリティ対策の向上等の取り組みに活用されることが期待されています。

また、内閣官房情報セキュリティセンターにおいては、各事業者へのヒアリング等を通じて、分野をまたがる有効な気づき等を整理し、今後の官民の情報共有体制に関する検討に役立てるとともに、政府の情報セキュリティ政策会議等に報告する予定です。

【問い合わせ先】

内閣官房情報セキュリティセンター

内閣参事官 大津 光孝

参事官補佐 松本 和重

電話：03-3581-8903